

【愛撫診察】主治医の歪んだ指先
～「はい」以外は許されない、逃げ場なき診察台の上で～

サンプル（一部抜粋）

「...性交痛ですか。
では一度診察してみましようか。下着を脱いで診察台に乗ってくださいね」

（機械音）

「詳しく見ていきますね。
痛い時は遠慮せず言ってくださいね」

（ボトルからローションを手袋にたらすグチュっとした音）

「...ん？
ああ、よく見る為にジェルを塗りますね」

（くちゅくちゅとクリトリスを撫でる音）

「ただ、中をもう少し調べないと断定できないので...
膣の中も見せてもらいますよ？」

「ジェルなんて必要ないくらい...濡れていますね。
ではまず指、一本から」

「いいですか。
あなたはそのままの反応を僕に見せてくれたら良いんですよ。」

「診察に協力していただけないと困りますからね。
あなたは今から『はい』以外の返事はしないように。」

「分かりましたか？」

「...返事は『はい』しか求めていますよ？
これは二度目の警告です。」

「三度目は問答無用でお仕置きですからね。
『はい』は？」